

質問 新型コロナウイルスワクチン接種の接種率の市ホームページ上での公表と誤接種を防ぐための工夫について伺う。

答弁 現在、接種率は「年代別接種状況表」に追加している。

誤接種を防ぐための工夫としては、発送日当日に対象者を抽出し発送することで対応している。

質問 舗装補修工事5カ年計画において4年度予定されている工事について伺う。

答弁 計画保全型については、市道104-1号線、105-3号線、207号線他3路線、計6路線の舗装補修工事を予定している。

事後保全型については、市道2310号線の舗装補修工事を予定している。

質問 市民課窓口のデジタル化に当たっての見解を伺う。

答弁 行政手続きのデジタル化・オンライン化を推進するに当たり、まずは窓口に来られた方の待ち時間短縮に向け、申請書等の記入をせずに手続きができるシステムを導入し、窓口サービスの向上を図りたい。



質問 生活道路の舗装補修について、老朽化が全市的に進んでいるが、今の進捗では課題が溜まっていく。抜本的な予算増と計画の見直しが必要と考えるが、見解を伺う。

答弁 令和2年度からの第4期道路舗装補修工事5カ年計画において、事後保全型の道路として位置付け、舗装の損傷が確認された場合、応急的な対応により部分補修等を行っている。

見直しについては、第4期計画に基づいて進め、舗装の健全性の確保に努めていく。

質問 大気汚染防止法改正によるアスベスト規制強化に伴う事務の増加に係る予算増の内容について伺う。

答弁 都からの事務移譲により、市が事務を行っている。

アスベスト含有建材の規制対象の拡大、全ての解体工事等におけるアスベスト含有建材の有無の確認のための事前調査が義務化された。

4年度から一定規模以上の解体工事等において、アスベスト含有建材の有無に関わらず、事前調査の結果を都へ報告することが義務化された。今回の予算増については、この事務の拡大に対応するため、必要となる備品等を購入するための予算を計上したことにより増額となっている。

令和4年度予算の主な継続・拡大事業

事業名	予算額
再生可能エネルギー等を活用した非常用電源確保事業	1億7,546万円
公共施設マネジメントの推進	1億1,478万1千円
東村山都市計画道路3・4・13号線及び東村山都市計画道路3・4・21号線整備事業	10億4,804万円
自転車等駐車場整備	3億5,181万3千円
道路舗装補修・排水施設整備工事	3億3,132万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億1,061万9千円
子宮頸がんワクチン接種委託	4,759万円
学童保育所運営業務委託	1億7,655万円
親子給食組み替え	4,745万9千円
学童保育所延長育成	3,622万7千円
出産子育て応援品・東京都出産応援事業	426万8千円
向山緑地公園の土地購入	8億1,994万8千円
アスベスト関連事務	87万3千円

市民協働の推進を求め

令和4年度一般会計予算について、原案に反対、予算特別委員会で提出された組み替え動議に賛成の立場から討論する。

令和4年度一般会計予算について、昨年度指摘した点が改善されていないことは、非常に残念である。本定例会の答弁などでも、市民との協働や対話を軽視してきた並木前市政が継承されてきた。

当初予算原案について、①平和事業費は減額せず、平和に対する意識醸成を図られる取り組みの検討、②男女共同参画啓発事業の予算減額の再考、編集委員の謝金改善、③子供の食の確保事業について、活用できる財源を利用したの実施、④コロナ禍での都市計画道

後期高齢者医療特別会計予算案、介護保険特別会計予算案、下水道事業会計予算案には特に意見を付すことなく賛成する。

富田市長、東久留米の竜馬になれ!

富田竜馬新市長は昨年12月26日の市長選挙で当選し、そのわずか2日後の28日に市長に就任。そこから実質1カ月で予算編成を行い、多額の歳入不足を解消して予算をまとめ上げた。一般会計予算の総額は450億円、

前年度より2億円増だが、歳入抑制の努力は感じられる。歳入不足を補うために財政調整基金を12億円投入したが、残高はまた約29億円ある。公共施設等整備基金の繰り入れはゼロにして基金を蓄えた。私が最も高く評価するのは、借金の削減。特に普通建設事業債は3億7110万円と、5億8320万円も削減。一定の財政規律を維持し、将来への

富田市長には常に謙虚で誠実に、強い正義感と絶対に諦めない心を持ち、私利私欲のない市政運営を心掛けていただきたい。そして東久留米市を「洗濯」して東久留米市の夜明けを実現し、ぜひとも東久留米の竜馬になっていただきたい。

その期待を込めて全ての予算に賛成する。

歳出抑制だけでなく歳入増の施策を

本予算は富田市長初の予算となる。所信表明では、公共施設マネジメントとデジタル化を推進し歳出削減を図ることだが、特に目新しいものでなく、他自治体でも当たり前に取り組んでいるものと言える。

子どもたちへの投資に關し、公園や環境を整えるという思いは分かるものの、どれだけの市民の満足感、税収増につながるか、なるべく多くの利益を得られるよう考える必要がある。

令和4年開始と言われている市史編さんについては、長い年月や費用等を要し、先延ばしは仕方ないかもしれないが、近隣市、特に清瀬市は既に着手している。

これからの市の理想像を考えるに当たり重要な施策である。本市も知恵を出して行っていきたいものである。地域経済活性化について、特に新たな発想は見られない。道の駅の事業も、どれだけの市民の利益となり得るか考量した上で調査・研究の結果を示していただきたい。

全体的に堅実な予算案であると言えるが、単に改革を掲げているだけでは魅力的なまち、住みたいまちにはならない。人口減少を食い止める、税の域内での還流を考え、今後の施策に落とし込んでいくことを望み、令和5年度予算に期待しつつ、一般会計予算案について賛成する。

また、3特別会計予算案および下水道事業会計予算案には意見を付すことなく賛成する。

策は設けず、ここ数年の異常な状況を含み、過去から持続する流れを踏襲し若干の修正を加えるにとどめるを得なかった。よって、通年以上に今後の取り組みは重要となる。

また、市議時代からの、

策」として市長公約でもある具体的な施策を示した。特に重点的な3つの取り組みは、過去からの継続というよりは飛躍を含むもので、強い切断力を備えていると考える。

かつて市長が平成21年度予算への反対討論において

民の存在や、どのような改革にも市民の立場等により配慮すべき面もあることなど、再認識する必要があることも、自戒を込めて指摘しておきたい。

保育施設の計画的な修繕、市民の声を広く聞き、新たな施設や必要な場所への設置、②保育園の民間活力導入のさらなる配慮、民間化の手法の改めでの振り返り、③学童保育所民間委託の慎重な対応、市としての在り方の再検討、以上を求め、国民健康保険特別会計予算案については、前述の理由から反対する。

なる現地に市議の責任者として置かれ、その困難さは私たちの想像を超えるものと容易に推測される。それでも、市民や議会との対話に身を置き、市長の所信を柔軟に進めていただくことを要望し、本予算案に賛成する。